

今回は、大阪市西区靱本町に本社のある明興工業株式会社（正会員・京滋支部）を訪問し、取締役社長 棚田敬三 様を訪ねました。

## 会社の概要

当社は昭和41年、フッ素樹脂の成形加工メーカーとして創立しました。設立当初は、主に重化学工業向の需要（設備品）が多く、形状も単純なガスケット、パッキン等でした。その後昭和40年半ばより日本経済は高度成長に入り、用途も多様化して参りました。昭和46年、弗素（フッソ）樹脂工業会へ正会員として入会し、本格的に成形・加工・販売を開始しました。昭和54年、様々な顧客のニーズへの対応・加工性の向上の為、従来の油圧プレス成型に加え、スーパーエンブラ・エンブラを用いての射出成形を始めました。その後日本の産業構造の変化に伴いエンブラの用途の多様化に応じるべく大型成型品（長繊維強化）の技術を米国フィリップス石油社より導入、PPS（ライトン）ACM（樹脂では限界とされた耐衝撃性をさらに飛躍させた先端複合材料）スタンバブル成形体制を昭和63年に郷里である富山県に北陸工場を新設、稼働。平成8年には、フッ素樹脂の半導体関連産業への需要拡大、生産環境対応の為富山に生産部門集約、北陸事業所として操業開始。同年、中国・広東省佛山市に日中合資会社を設立し、中国市場を視野に入れた事業展開も始めました。さらに、平成14年には、北陸事業所内にフッソ樹脂アイソスタテック成形工場を増設しました。



棚田 敬三 社長

## 我が社の特色

我社の大きな柱であるフッ素樹脂（テフロン）は大変な優れ物でありオ－ルマイティな樹脂です、しかし成形性は非常に厄介な樹脂です。その樹脂を37年間続けてきて多くの技術開発、（成形技術、加工技術、溶接技術、特殊コンパウンド技術等）製品開発を積み上げてきました。又、複合化追求を進めて来た中で、フッ素樹脂（テフロン）以外のス－パ－エンブラ等の技術確立も行い、幅広く市場のニ－ズにお応えしております。

## 我が社のコア部 フッ素樹脂、ス - パ - エンプラに特化！

原料	フッ素樹脂	PTFE（四フッ化）	直圧成形、アイソスタテック成形、
		PTFE（四フッ化）	特殊コンパウンド
		PFA（溶融フッ素）	射出成形
ス - パ - エンプラ	PEEK		射出成形、スタンパブル成形
		PPS	射出成形、スタンパブル成形
		精密二次加工、フッ素樹脂溶接、溶着	

### 協会への要望

業界は同じですが、業種はいろんな会社の方の集まりです。特に私共の業種は、皆様方とは少し異なりますので、入会当初は協会運営に関して殆ど感心が無く支部会の参加のみでした。

しかし理事、支部長の大役を仰せ使ってから毎月の理事会等には成る可く多く出席し、少しずつでは有りますが協会の事が判りつつ有ります。協会は会員の皆様有ってのもので、会員の皆様には日々、内容のある情報を速やかに伝達しなければなりません、時として余りにも情報物が多くせっかくの情報も見逃す事もあるのでは？

支部会で報告と思いますが、支部会は年4回で思う様に伝達出来ません。事務局は大変だと思いますが支部会開催時に、その間のダイジェスト版を作成、配布願えれば依り伝達が正確、そして関心を持って頂き参加者も多くなるのではと思います。



ありがとうございました

取材：事務局 加納、山守